

学習展開例（第3学年 体育）

担当（篠原）

学期	領域・単元	学習目標	標準時数	学習展開例		想定時数
				学校（みんな）ですること	家（一人）ですること	
2	保健 ・けんこうな生活	◎ 健康な生活について課題を見つけ、よりよい解決方法を考え、実践する。 ・健康によい生活の仕方を理解し、実践する。	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>「けんこうな生活」について、自分が調べてまとめたことについて交流する。</li> <li>家庭でも安全に楽しく行うことができる体ほぐしの運動、多様な動きをつくる運動を行うことを通して、運動と健康が密接に関連していることについて理解する。</li> <li>学校給食とも関連付け、食事と健康が密接に関連していることについて理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「けんこうな生活」の章全体を通して、自分が気になったこと、疑問に思ったことについて調べてまとめる。</li> <li>学習したことと自分の生活とを比べたり関連付けたりして、1日の生活の仕方や生活環境を整えるための方法を考え、実践する。</li> </ul>	
2	体づくり運動 ・体ほぐしの運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりする。</li> <li>体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きを行ったり、それらを組み合わせて行ったりする。</li> </ul>				
1	体づくり運動 ・多様な動きをつくる運動					
1	表現運動 ・表現	◎ 表現運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、表したい感じを表現する。 ・身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊る。	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで「ジャングルカルタ」を1つ選び、「なか」を表現する。</li> <li>お話の“はじめ”を創る。</li> <li>お話の“終わり”を創る。</li> <li>表現作品発表会をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現作品発表会に向けて練習をする。</li> </ul>	
1	水泳運動 ・浮いて進む運動 ・もぐる・浮く運動	※ 水遊びの心得については、学級活動等で扱う。	12			
1	走・跳の運動 ・かけっこ・リレー	◎ 走・跳の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、自分の追究したい種目を選び、自己の目標達成に向けて活動を工夫して行う。 ・かけっこ・リレーでは、調子よく走ったりバトンの受け渡しをしたりする。 ・小型ハードル走では、小型ハードルを調子よく走り越える。 ・幅跳びでは、短い助走から踏み切って跳ぶ。 ・高跳びでは、短い助走から踏み切って跳ぶ。	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの運動を実際に行い、行い方を知り、自己の目標を設定する。</li> <li>目標達成のための自己の課題を見つけ、課題解決のための活動を選び、行う。</li> <li>友だちの良い動きや変化を見つけたり、考えたりしたことを友だちに伝える。</li> <li>自分の好きな種目を選び、課題を追究する。</li> <li>友だちとの競走（争）の規則や記録への挑戦の仕方を選んで行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主運動につながる運動を行う。</li> <li>自己の課題解決のための活動を行う。</li> <li>友だちとの競走（争）の仕方を考える。</li> </ul>	
2	走・跳の運動 ・小型ハードル走					
2	走・跳の運動 ・幅跳び					
2	走・跳の運動 ・高跳び					
1	体づくり運動 ・体ほぐしの運動	◎ 器械運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、自分の追究したい種目を選び、自己の目標達成に向けて活動を工夫して行う。 ・手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりする。 ・マット運動では、回転系や技巧系の基本的な技をする。 ・鉄棒運動では、支持系の基本的な技をする。 ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技をする。	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>（毎時間、体ほぐしの運動を行う。）</li> <li>それぞれの運動を実際に行い、行い方を知る。タブレット等を活用し、毎時間の技の出来栄を撮りためておく。</li> <li>自分の好きな内容を選び（1～2程度）、自分に適した課題を選び、挑戦する。</li> <li>技のポイントを理解し、仲間同士で教え合う。</li> <li>撮りためておいた映像を見て、第1時からの自己の成長を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主運動につながる体ほぐしの運動を行う。</li> <li>目標達成のための自己の課題解決のための活動を行う。</li> <li>自分や仲間の取り組んでいる技のポイントについて調べる。</li> </ul>	
3	器械運動 ・マット運動					
3	器械運動 ・鉄棒運動					
1	器械運動 ・跳び箱運動					
2	体づくり運動 ・多様な動きをつくる運動	◎ スポーツ大会を開催し、「する」「みる」「支える」「知る」など、自己の特性に応じて、スポーツとの多様な関わり方について考える。 ・用具を操作する動き、力試しの動きを行う。 ・ゴール型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをする。 ・ネット型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをする。 ・ベースボール型ゲームでは、蹴る、打つ、捕る、投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって、易しいゲームをする。	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>（毎時間、用具を操作する動き、力試しの動きを行う。）</li> <li>それぞれの運動を実際に行い、行い方を知る。</li> <li>ボール操作とボールを持たないときの動き等を高める。</li> <li>規則を工夫したり、作戦を選んだりする。</li> <li>友だちの良い動きや変化を見つけたり、考えたりしたことを友だちに伝える。</li> <li>自分の好きな種目を選び、みんなが楽しめる規則を選んだり、作戦を考えたりする。</li> <li>目標達成のための自己やチームの課題を見つけ、課題解決のための活動を選び、行う。</li> <li>どのようなスポーツ大会にしていけるのか、意見を出し合い、決定する。</li> <li>スポーツ大会を開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具を操作する動き、力試しの動きを行う。</li> <li>自己の課題解決のための運動を行う。</li> <li>自己やチームの課題解決のための運動を行う。</li> <li>大会開催のための準備を行う。（ポスターづくり、メダルづくり、対戦表づくり等）</li> </ul>	
2	ゲーム ・ゴール型ゲーム （タグラグビーを基にした易しいゲーム）					
3	ゲーム ・ネット型ゲーム （ブレルボールを基にした易しいゲーム）					
2	ゲーム ・ベースボール型ゲーム （ティボールを基にした易しいゲーム）					
			105			

・「想定時数」は、学校ですること（授業）の時数とする。